

一般質問

「市政ここが聞きたい」



議会動画配信

12月2日(水)



災害ごみ

運搬の対策を

千綿 正明（政研会）

災害ごみ運搬用の軽トラは、いざという時に簡単に借りることができないが、鍋島校区の自主防災組織ではこの対策として、生産組合や自治会を通じて車両を提供してくれる方を募り、貸し出している。これを市全域に広めようか。

答弁 この取り組みは、災害発生後の復興に関して、地域コミュニティによる迅速な対応を可能にするものと考えている。一方で、家用車の貸し借りに関しては、道路運送法の法律上の問題や、事故発生時の責任の所在など、整理する課題もあるのではないかとと思う。これらが整理されれば、他地域でも取り組みを広げていくことが可能と考えている。このような先進事例については、

現在も自主防災組織の研修会や出前講座で紹介しているが、今後も引き続き、先進的な取り組みについて紹介していきたい。



地域独自の避難

計画作りに支援を!!

福井 章司（自民政新会）

①小中学校や自治公民館も1次避難所にするべきで②学校のエレベーター設置の現状と③災害の種類に応じた避難所対策は④台風10号に関して地域ごとに意見交換を行い地域の避難計画作りを支援せよ⑤平時からの災害対策チームを庁内につくるべきでは。

答弁 ①避難所の区分は柔軟な運用に努めたい②現在、小学校が34校中20校、中学校が18校中8校に設置。今後も計画的に改築や改造時に設置を進める③災害の種類に応じた避難所を定め「佐賀市防災の手引き」で広報している。気象状況に注視し適切な避難所開設に努めたい④まずは全地域で意見交換会の開催を目標にして開催を呼びかけていきたい⑤先進地の取り組み等を参考にしながら本市に合った体制づくりを研究していきたい。

◆その他◆来期市長選挙について/ミヤマガラス対策について



産後に安心できる

子育て環境を!!

山田誠一郎（ネットワーク佐賀）

①「産後うつ」を市としてどう捉えているのか②現状把握は③アンケート以外の不安要因の把握は④市としての課題は⑤今後どう取り組んでいくのか⑥今後の支援体制の具体的な内容は。

答弁 ①重症化すると、母親の自殺など最悪の結果をもたらす場合があり、健康づくり計画に基づき、切れ目のない支援に取り組む②うつ病リスクのある人は、産後2週間健診時で155人、1か月健診時で103人③保健師が直接面談を行い、必要に応じて複数回、妊婦訪問を実施④早期発見時に適切な関係機関につなぎ、継続した支援を行う連携体制の強化が重要⑤精神科を含めた体制作りを検討⑥県が実施するカウンセリング事業を活用し、安心して出産、子育てできる仕組みを構築。

産、子育てできる仕組みを構築。



大人のひきこもり

問題解決に向けて

永洲 史孝 (自民政新会)



①現在、市が把握している人数は②現在の相談支援体制は③社会福祉法の一部改正における重層的支援体制整備事業がもたらす政策の変化とは④問題解決のため、先進的な政策の導入の可能性は。

答弁

①内閣府による佐賀市の推計値は約千人である②NPOによる伴走型支援、社会福祉協議会による世帯全体を支援する活動、福祉まるごと相談窓口による関係機関と支援の調整を図るネットワーク事業と3つの委託窓口がある③この改正により様々な分野を一体的かつ重層的に整備する重層的支援体制整備事業を行うことができる④先進自治体を参考に、重層的な相談支援体制事業を展開したい。

◆その他◆災害時の対応について



災害時の避難に

県の施設の開放を!!

黒田 利人 (自民市政会)



今年の台風10号時には小学校が避難所として開放されたが、市内の県立高校や県の施設を避難所として開放することを強く要望する声が多く寄せられた。今後、市民のニーズに応じて、近隣の県立高校や県の施設を災害時の避難所として開放することの見解を問う。

答弁

県立学校施設の避難所としての活用については、現在、佐賀県教育庁からも実際の開設時に向けての協議の依頼があつており、市と県が協力・連携して避難所の開設運営を行うことができないか、今後、協議を進めていきたい。なお、台風10号の対応のように、重大な被害が発生するおそれがある場合は、2次避難所や3次避難所も含め、状況に応じた最適な避難所を選定し、優先して開設するなど弾力的な対応を行うこととしてい

◆その他◆

はじめ撲滅の現状と今後の対策について



子どもの医療費

助成制度の拡充を

中山 重俊 (日本共産党)



①これまで中学生の通院助成の拡充には当初予算の0.1% (1億1千万円) できると答弁したが実現できないか②12月1日に新日本婦人の会が3,588名の署名を提出したが市長の認識は③来年10月の市長・市議の任期満了までに助成を拡充する考えはないか。

答弁

①十分理解はできるが、子どもの医療費助成制度の全体額は年々増加し続けており、さらに1億円を超える負担は慎重に判断すべきと考える②要望は重いものと感じているが、県の補助なしに、市で財源を捻出するには負担が大き

◆その他◆

重度、心身障害者医療費助成の現物給付
／放課後児童クラブの拡充
／少人数学級
実現



東よか干潟

「ひがさす」の現況

重松 徹 (自民市政会)



東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」は10月20日に開館して以来、たくさんの方に来館していただいているようだが、その現状について問う。①11月30日までの来館者数は②新型コロナウイルスへの感染対策は③来館者からの意見・要望とその対応状況は。

答弁

①57,446人②入口でサーマルカメラによる体温測定、手指消毒、館内ではマスク着用としており、密対策として必要に応じ入場制限やこまめな換気をしている③来館者から「トイレの表示が分かりにくい」と指摘があり、黒一色のサインに配色し、文字情報を追加した。また、大型スクリーンによる東よか干潟の野鳥や四季の鑑賞で、映像にテロップや字幕の追加の要望があり、現在、対応中である。利用者の声に耳を傾け、利用者目線で対応し、施設の魅力や価値の向上を図りたい。



12月3日(木)



菓子文化の発信で
地域活性化を！

村岡 卓（公明党）

① 本年6月、佐賀市を含む北部九州3県にまたがる「砂糖文化を広めた長崎街道〜シユガロード」が日本遺産に登録された。② 日本遺産登録までの取り組みと経緯は③ 今後の活動における佐賀市の役割は④ 認知を進める手だては④ 佐賀市独自の取り組みは。

12月4日(金)



神野公園駐車場の
あり方を問う！

御厨 洋行（市政未来）

① 土日祝日や連休には、神野公園の駐車場が大変混雑している。利用者の利便性向上のため、佐賀駅南口暫定駐車場を活用し市営バスで神野公園へ行く「パークアンドライド」は考えられないか② 大型バス対応の駐車場が必要だと考えるが整備の進捗は。

① 佐賀、長崎、福岡県内の8市と菓子組合等で設置した連絡協議会において登録への検討を始め、平成28年度から継続して申請を行い、5回目となる今年6月に認定された② 日本遺産を通じた地域活性化計画に沿って、マーケティング事業と学校等での講座開催を主に行う③ 菓子事業者等と連携し、ポスター掲示やパンフレット配布、情報誌での特集等を予定④ 認定記念パネル展の実施や佐賀城下ひなまつり等での周知を行いたい。



◆ その他 ◆
キッチンカー等を活かしたにぎわいづくりについて

① 神野公園駐車場が満車の場合に備え、土日祝日の午後には神野公園内グラウンドを、加えて花見時期や大型連休の際には神野公園西側にある八戸溝低床公園も臨時駐車場として開放している。現状では駐車場不足ではないが、今後さらに利用者が増え駐車場不足が生じた場合には一つの解決手段として「パークアンドライド」を検討したい② 大型バスが神野公園の駐車場へ乗り入れ可能か検証し、可能であれば本年度中に3台分のスペースを確保したい。◆ その他 ◆
交通安全対策について



避難の課題整理と
運営の改善を！

白倉 和子（さが未来）

① 避難所での対応が異なっていた運営の全庁的な意識統一を② 福祉避難所開設の基準は③ 対象者が通い慣れた特別支援、ろう・盲学校等を避難所に使えないか④ 要支援者に実効性ある避難個別計画の策定を⑤ ペット同行同伴について⑥ 女性の視点を避難所運営に。

① 台風10号の反省を基にルールを整理する② 各避難所で必要に応じて福祉避難所を開設し、多くの方が予測される場合は、真つすぐ福祉避難所を開設する③ 避難所としての使用を協議検討していく④ 県有施設を含め、個別計画の実効性が高くなるよう検討していく⑤ ケージに入れての同行避難は対応している。避難者との同伴は対応方法を検討する⑥ 今後は授乳室や更衣室として屋根付きパーティション配備を検討し、物品の準備を進めていく。◆ その他 ◆
劇物指定されたフッ化物洗口
の中止について



イノシシ対策の
充実を!!

松永 憲明（社会市民クラブ）

① イノシシによる過去3か年の農作物被害額と駆除頭数② 平成29年8月定例会での一般質問後の進捗状況（箱わな監視装置の試験的導入、狩猟免許の新規取得及び更新への支援策）③ 猟友会員の高齢化・担い手不足で活動量の低下が懸念される中、今後の対策は。

① 農作物被害は平成29年度約690万円、平成30年度約1,200万円、令和元年度約1,400万円、捕獲頭数は平成29年度1,300頭、平成30年度1,868頭、令和元年度1,206頭② 装置の効果等を検証し、今後の運用について協議したい。狩猟免許の取得や更新については、各種支援策を実施しており、隊員の確保に努めている③ 集落や農家で行う自衛活動の支援を強化し、将来的には猟友会の補助的役割等を担ってもらいたい。◆ その他 ◆
フッ化物洗口について／教育行政に対する教育長の所信について



※3 パークアンドライド…自宅から車で最寄りの駅近くの駐車場まで行き、車を駐車させた後、公共交通機関を利用して目的地に向かうシステムのこと。

今後のコロナ経済

対策の考えは

山下 伸二(ネットワーク佐賀)



①これまでコロナ対策として、事業継続支援金やプレミアム付商品券事業などの経済対策に取り組んできたが、その評価は②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の3次配分を活用した、今後の経済対策への取り組みの考えは。

シビックプライドの醸成を!

醸成を!

久米 勝也(ネットワーク佐賀)



シビックプライドとは、郷土愛だけではなく市民自らが主体となり、当事者意識を持ちながら、地域づくりや地域活動に取り組むことで醸成される意識であり、将来のまちづくりのため全庁的にシビックプライドの醸成に努めるべきだと思いが今後の取り組みは。

答弁 ①事業実施中のため全体の評価は難しいが、事業継続支援金は市内に店舗等を構える事業者の約8割に支給し、商品券事業は域内消費の喚起につながるなど、事業者の事業継続や売上げ回復に一定程度寄与したと考えている②事業の効果検証を行った上で、事業者の状況を見極めながら、事業継続や域内経済の振興のためにどういった対策が必要か、効果的かの検証を進め、今後、必要な対策を講じるこ



域内消費に一定寄与

答弁 市民が本市への誇りと愛着を共有し本市の魅力を勧めたいと思ふようなまちづくりのために、本市に関わる人にシビックプライドを意識してもらうことは大変有効である。そのため、シティブロモーション事業等をはじめ、各部署でシビックプライドを意識し事業に反映させることが大切である。今後も市民参加と協働によるまちづくりを推進する中で、様々な分野で子どもから大人まで幅広く取り組みを展開し、シビックプライドの醸成に努めたい。



◆その他◆人権を守る取組について

◆その他◆公共交通について

進めよう！子どもへのまなざし運動

へのまなざし運動

富永 明美(社会市民クラブ)



本市には「佐賀市未来を託す子どもを育てための大人の役割に関する条例」通称「まなざし条例」という素晴らしい条例がある。これを有効活用し実効性あるものにするため①成人式で新成人が宣言してはどうか②母子手帳に記載してはどうか。

答弁 ①条例の内容を新成人に宣言してもらうことで、まなざし運動を改めて知るきっかけになり、周知、啓発の観点からも大変有効である。ただし、今年度の成人式は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、式典時間を短縮する予定であるため、次年度以降に成人式実行委員会に諮りながら、検討していきたい②担当部局との調整が必要になるが、周知、啓発の観点から有効であると考えており、掲載方法等について検討していきたい。



◆その他◆投票環境及び投票率の向上に向けて

答弁 ①各種健診では受診者へ保健指導をし、がん検診では要精密検査者へ受診勧奨をしている②受診勧奨通知や、受診しやすい体制づくりを行っている③身体活動量や運動は、罹患率や死亡率の低下、メンタルヘルス等に効果があり、高齢者では認知機能低下防止等に効果がある④気軽な運動の推奨や健康推進員の育成で、普及活動をしている⑤マップ作成や、各種イベントを開催している⑥運動習慣者には、運動の機会提供を継続したい。無関心層対策としては他都市の事例等を参考にしたい。



健康づくり

健康づくりに関し

新たな取り組みを

中村 宏志(公明党)



①現在の健診・検診とその後のフォローは②多くの市民に受診してもらう為には③身体活動・運動の必要性に関する認識は④佐賀市での取り組みは⑤歩く・ウォーキングの普及への取り組みは⑥運動習慣者の増加と無関心層へ新たな対策と取り組みをすべきでは。